### lookup

ルックアップテーブルを参照し、特定のフィールド値を他の値に変換します。ルックアップは「**[分析 > ルックアップ](/ja/sonar/4.0/ui/section-lookups)**」で追加して利用できます。

#### 構文

lookup LOOKUP\_TABLE KEY\_FIELD output MAP\_FIELD [as ALIAS], ...

必須パラメータ

**LOOKUP\_TABLE**

フィールド値の変換に使用するルックアップテーブル。ログプレッソ・ソナーには、country（ISO 2桁国コード）、region（地域）、city（都市）、latitude（緯度）、longitude（経度）フィールドで構成されたgeoipルックアップテーブルが内蔵されています。このテーブルを利用して、IPアドレスタイプまたは文字列型の入力フィールド値をマッピングフィールドの値へ変換できます。

**KEY\_FIELD**

ルックアップテーブルでキーとして機能するフィールド名

**output MAP\_FIELD [as ALIAS], ...**

ルックアップテーブルでキー値と一致するレコードを検索し、該当レコードの指定されたマッピングフィールド（MAP\_FIELD）の値を出力フィールド（ALIAS）に割り当てます。as句を利用して出力フィールド（ALIAS）を指定できます。省略した場合はマッピングフィールド（MAP\_FIELD）名がそのまま使用されます。

ログプレッソ・シェルでは、logdb.loadCsvLookupコマンドで事前にマッピングテーブルをロードしたり、geoipのようにlookupクエリコマンドをサポートする拡張モジュールをインストールすることができます。

#### 使用例

geoipを利用してIPアドレスを位置情報に変換する

lookup geoip src\_ip output country

lookup geoip src\_ip output region

lookup geoip src\_ip output city

lookup geoip src\_ip output latitude, longitude